

平成 29 年 9 月 定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成 29 年 9 月 28 日 (木) 開会 10 時 00 分 閉会 11 時 30 分

2. 場 所 福井市役所 8 階第 3 委員会室

3. 出席者

| | |
|----------|-------|
| 教育長 | 吉川 雄二 |
| 教育長職務代理者 | 玉木 誠 |
| 教育委員 | 佐藤 藤枝 |
| 教育委員 | 木村 敦子 |
| 教育委員 | 春木 伸一 |

<事務局職員>

| | |
|-----------|--------|
| 教育部長 | 村田 雅俊 |
| 少年対策参事官 | 北川 登 |
| 教育次長 | 齊藤 正直 |
| 生涯学習室長 | 桑原 浩明 |
| 図書館統括館長 | 渡邊 智洋 |
| 教育総務課長 | 久々津 久和 |
| 学校教育課長 | 小林 真由美 |
| 保健給食課長 | 川上 順子 |
| 青少年課長 | 下山 博幸 |
| スポーツ課長 | 村西 正明 |
| 図書館長 | 渡邊 正英 |
| みどり図書館長 | 吉村 瞬潤 |
| 桜木図書館長 | 道佛 浩二 |
| 調整参事 | 大久保 容子 |
| 教育総務課副課長 | 前川 昌司 |
| 文化財保護課副課長 | 渡邊 貴美 |
| 教育総務課主幹 | 吉田 浩一 |

4. 議 題

議 案

第 10 号議案 福井市立学校管理規則の一部改正について

報 告

- (1) 9 月定例市議会の質疑について
- (2) 平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果公表について
- (3) 平成 30 年度～平成 31 年度福井市公民館主事委嘱候補者選考について

5. 議事の経過

- (1) 開会、教育長あいさつ

(2) 会議録署名委員の指名 木村 敦子 委員 春木 伸一 委員

(3) 議事の要旨

| | |
|-------------------|---|
| 吉川教育長 | まず、第 10 号議案 福井市立学校管理規則の一部改正について、事務局から説明を求める。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 中教審から「学校における働き方改革に係る緊急提言」が出されたことを踏まえ、本市としても 3 つの取組を考えている。1 つ目は、毎週水曜日をノー残業日と定め、18 時には全員退勤とすること。2 つ目は、8 月 14 日から 16 日までの 3 日間を「学校閉鎖日」とし、日直を置くことなく全教職員が休めるようにしたこと。3 つ目は年度始休業日を 4 月 5 日から 4 月 7 日まで延長し、年度当初の多忙化解消を図ったことである。以上の 3 つの取組を実施するにあたり、福井市立学校管理規則の一部改正を行うものである。 |
| 吉川教育長 | ただ今の説明について、ご意見ご質問等はないか。 |
| 春木委員 | 日直員は現場の先生が交代で務めるのか。また、どれくらいのペースで回ってくるのか。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 現場の教職員が交代で務めており、教職員数の多い学校は回ってくる頻度が少なく、教職員数が少ない学校は早いペースで回ってくる。ほとんどの学校は管理職を除き、事務職を含めて行っている。 |
| 春木委員 | 不公平感などの訴えはないのか。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 現状ではお盆の時期でも日直はあるので、その日に日直が回ってくると休めなくなる。 |
| 玉木委員 | 日直の時間は何時までか。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 勤務時間と同じである。ほとんどの学校が 5 時くらいに校舎内を巡回し、施錠確認するので、そこで帰っても問題ないが、実際は多くの教員が最後まで残っている。 |
| 佐藤委員 | 仕事があるから残っていると、管理職が残っていて帰りづらいから残っていると、いろいろな状況がある。ノー残業デーで一斉に帰ることはいいことだが、仕事が残ってしまうことへの配慮は何か考えているのか。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 学校内の業務そのものを削減する必要があるが、何でも削減する訳にもいかないので、来年度に向けて(削減する業務の)検討を行っている。また、県教委に |

| | |
|-----------------|---|
| | も働きかけていく。 |
| 佐藤委員 | 仕事を家に持ち帰る先生方も増えるかもしれない。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 子どもたちのプライバシーにも関わるので、原則は学校内で仕事を済ませる必要がある。ただ、毎週水曜日をノー残業デーにすると、土日に出てきて仕事をする教員が増えないか心配している。 |
| 玉木委員 | 民間企業だと勤務時間以降は超過勤務手当がつくが、教職員はどのようなになっているのか。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 教職員は給料の４％分が調整額として支給されているので、現状ではこれ以上支給されない。 |
| 吉川教育長 | 給料体系を見直す話も議論されているが、民間企業のように超過勤務手当を出すとなると、財源の問題もある。 |
| 木村委員 | (規則の中の)勤務を要しない日とは、どのようなものがあるのか。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 土曜日や日曜日、又は休みの日に学校行事を行い、休みを振り替えた日などが該当する。当初は勤務を要しない日に、お盆の３日間を含めることを考えたが、教職員の勤務については県の条例で定められており、福井市のみの取組で県の条例を改正することはできないので、このような仕組みとした。 |
| 吉川教育長 | お盆の３日間は日直員を置かず学校閉鎖日としたので、先生方は夏季特別休暇もしくは年休を使って休んでもらえればいい。 |
| 事務局 (教育部長) | 現在、この取組を行っているのは永平寺町のみである。これに福井市が加わり、他の市町が追従すれば、県の条例自体が改正される道も開けてくる。 |
| 吉川教育長 | 他に何かないか。 |
| | 特に意見なし |
| 吉川教育長 | それでは、第１０号議案 福井市立学校管理規則の一部改正について、原案のとおり承認することでご異議ないか。 |
| | 異議なしの声 |
| 吉川教育長 | 第１０号議案を原案のとおり承認する。 |

| | |
|---------------|--|
| 吉川教育長 | 次に報告事項に移る。報告（１）９月定例市議会の質疑について、事務局から説明を求める。 |
| 事務局 （教育部長） | <p>９月定例市議会の会期は、９月４日から９月２７日の２４日間であり、教育委員会関係で今回議会に提出した議案はなかった。</p> <p>一般質問と予算特別委員会における質疑であるが、一般質問では全体として２３人の議員から７６件の質問があり、教育委員会関係では１１人の委員から１３件の質問があった。</p> <p>以下、別冊資料にて一般質問の質疑の要旨を説明</p> |
| 事務局 （教育部長） | <p>予算特別委員会では全体として５つの会派から４９件の質問があり、教育委員会関係では５つの会派から１３件の質問があった。</p> <p>以下、別冊資料にて予算特別委員会の質疑の要旨を説明</p> |
| 吉川教育長 | ただ今の報告について、何か質問等はないか。 |
| 木村委員 | 英検の加点について、受験料の補助が出ることは有り難く、これを機会に受験する生徒が増えたと思うが、本来の学習にプラスアルファで勉強するとなると、先生方や生徒本人の負担にならないか心配だ。 |
| 吉川教育長 | 本来ならば、自分の英語の実力を理解した上で受験するのが望ましいが、現場の校長の話を聞くと、自分の能力が追いついていないのに受験せざるを得ない雰囲気もあるようだ。 |
| 木村委員 | でもこの機会がなかったら、上の級へとトライする生徒がこれほど多くなかったと思う。 |
| 吉川教育長 | もうすぐ小学３年生から外国語活動が始まり、さらに英語教育の低年齢化が進んでいく。実際問題、英語は役立つとは言うけれど、社会に出て英語が必要かどうかは将来進む進路によっても変わる。 |
| 玉木委員 | グローバル化を志向している企業は、語学力のある人材を求めているので、そういった企業に入りたい人は語学力を磨いて行って欲しい。 |
| 吉川教育長 | （県立高校入試の）要項も発表され、今年はこれで実施されるが、この結果を検証するとなると、それもまた難しい。 |
| 玉木委員 | 福井県の子どもたちは、（他の教科も含めて）英語も素晴らしいのだというのを目指していくのだと思うが、結果的には悪いことではない。 |

| | |
|-----------------|--|
| 吉川教育長 | 学校現場では、当然、英語だけでなく他の教科も満遍なく指導しているが、報道を見ていると、英語だけ力を入れているように見られてしまう。 |
| 佐藤委員 | フィンランドの教員採用では、人間性やコミュニケーション能力が重視されるようだが、本県の教員採用試験ではどうなのか。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 本県の教員採用試験では、個人面接と集団面接の両方が行われる。集団面接では5～6人のグループで課題を提示し、自由に意見を出し合い、最後に発表するもので、ある程度は(人間性やコミュニケーション能力を)見ることができるが、短い時間なのでなかなか難しい。 |
| 玉木委員 | これまでに何回か面接をやってきたが、対象者に「コミュニケーション能力を向上するために、あなたは何をしますか?」と質問すると、たいていは挨拶と答える。そうではなく、相手の気持ちをどうやって聞いて理解できるかが大事である。 |
| 佐藤委員 | 発達障害があるなど多様な子どもたちがいる中で、教員のコミュニケーション能力不足は、子どもたちを指導していく上で心配。 |
| 吉川教育長 | 他に何かないか。 |
| | 特に意見なし |
| 吉川教育長 | 次に報告(2)平成29年度全国学力・学習状況調査の結果公表について、事務局から説明を求める。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果については、先月の定例教育委員会にて報告させていただいたが、今月末を目途にホームページへの掲載、また各学校での教員研修用の資料を配布予定である。特に教員研修用の資料は、全国平均、福井市平均、自校の平均と3つを比較することにより、自分の学校の課題や改善のポイントを考えてもらえるような内容となっている。 |
| | 以下、会議資料をもとに概要を説明 |
| 吉川教育長 | ただ今の報告について、何かご質問等はないか。 |
| 玉木委員 | このような報告はどれくらいの人が見ているのか。 |
| 吉川教育長 | 昨年はこちらに対して1件も問い合わせ等はなかった。 |
| 玉木委員 | 新聞報道などで福井の学力は全国トップクラスというのは分かっているが、ど |

うしてトップクラスなのかといった細かい部分があまり知られていない。市民の皆さんに知ってもらう方法を考える必要がある。

事務局
(学校教育課長)

市政広報や各学校の学校だより、公民館などを使って周知を図っていきたい。

吉川教育長

他に何かないか。

特に意見なし

吉川教育長

次に報告(3)平成30年度～平成31年度福井市公民館主事委嘱候補者選考について、事務局から報告を求める。

事務局
(生涯学習室長)

平成30年度から平成31年度の福井市公民館主事委嘱候補者選考について、公民館主事は今年度で4年の任期が終了し、来年度に向け候補者選考を行うところである。今回、任用にあたって大きな変更点として、地方公務員法及び地方自治法の一部改正があり、今後、公民館主事は「会計年度任用職員」として位置づけられ、平成32年度以降は1年任期の任用となる。今回の法改正は、全国の自治体において任用制度の趣旨に沿わない臨時・非常勤職員の運用が見られることから、任用制度の適正化を図る目的に行われた。

吉川教育長

ただ今の報告について、何かご質問等はないか。

佐藤委員

平成30年度から31年度までは2年の任期、32年度以降は1年ごとの任期ということか。

事務局
(生涯学習室長)

そのとおりである。しかしながら、1年任期では主事のなり手がかなり少なくなることが考えられるので、何か良い方法がないか検討しているところである。

佐藤委員

公民館主事の仕事は、上司がいて決められた仕事を繰り返すようなものではなく、地域のコーディネーターとして教育事業の企画運営であったり、学習者の支援であったりと、1年で覚えられるものではない。いくら良い人材が集まったとしても、主事の立場からするとモチベーションが上がらない。これは主事のためだけではなく、地域のためでもある。

事務局
(生涯学習室長)

法改正の発表後、公民館職員に動揺が広がり、モチベーションが上がらないという意見もいただいた。何か方策を考えていきたいが、法令順守も崩す訳にもいかない。

吉川教育長

1年任期としても、継続して採用すること自体は制限ないのか。

| | |
|-------------------|---|
| 事務局 (生涯学習室長) | そこに制限はない。 |
| 吉川教育長 | 他に何かないか。 |
| | 特に意見なし |
| 吉川教育長 | 予定していた審議事項は以上であるが、他に何かないか。 |
| 事務局 (教育総務課長) | 本年度1回目の総合教育会議を10月25日(水)午後1時30分から、市役所3階庁議室で開催するのでご出席いただきたい。 |
| 事務局 (保健給食課長) | 9月14日(木)に開催された第66回福井市小学校連合体育大会には、教育長をはじめ教育委員の皆様にご出席いただき感謝申し上げます。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 10月10日(火)にフェニックス・プラザにおいて、劇団四季こころの劇場の公演が開催される。小学校5、6年生が見学するので、教育委員の皆様にも是非ご観覧いただきたい。 |
| 吉川教育長 | 最後に事務局から次回の日程についてお願いする。 |
| 事務局 (教育総務課副課長) | 次回の定例教育委員会について、10月25日(水)午後3時30分から、場所は本日と同じ福井市役所8階第3委員会室にて開催するので、ご出席いただきたい。なお、当日は定例教育委員会前に、本年度1回目の総合教育会議が開催されるので、多少時間が前後するかもしれないがよろしくお願いいたします。 |
| 吉川教育長 | 以上をもって会議を終了する。 |

平成29年10月25日

署名委員 木村 敦子

署名委員 春木 伸一

会議録作成職員 吉田 浩一